様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日 2024 年　1 月　18 日

１．職名・氏名　教授・桑原美香

２．学位　　学位　博士 、専門分野　経済学 、授与機関　広島大学 、授与年　2003 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 財政学(4 単位) 2 年次以上配当

② 内容・ねらい

財政の 3 つの機能について理解したうえで、各論として地方財政、租税、社会保障、国債についても盛り込んだ。

また、経済・財政運営に関して概要を理解するとともに、海外の経済政策との比較の中で、財源確保や日本独自の課題などについても自分なりの意見がもてるようにすることをねらいとした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学習効果を高めるよう、下記３点の要領で予習・復習の時間設定を考慮した講義設計とし

(1)各講義の冒頭 10 分程度で前回のまとめを行うこと

(2)1 テーマを 3 講義（現状、理論、課題と今後の政策）に分けて進め、各テーマ終了時に全体を通したまとめをすること

(3)受講生には講義前迄に教科書を読ませ、自身でレジュメを作成して提出させることで、講義当日を復習の場とする「反転授業」を導入すること

また、VTR 等を多用することで、昭和時代の状況を体感したり、映画等を用いて実際の現場で起こっている事象について触れられたりするよう工夫した。

① 地方財政論(2 単位) 3 年次以上配当

② 内容・ねらい

用語を理解し、データを読み込めるようにすることに主眼を置き、そのための国と地方の財政関係や制度理解とした。それらを踏まえたうえで、今後の「まち」を取り巻く環境について、課題と展望について自分なりの意見が言えるようになることを最終目標とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生の要望に沿って、半年をかけて課題レポートを作成するような講義となるよう設計した。講義の前半では公共施設の再配置ゲームを用いたり、白書などを用いたりすることで、身近な地方財政の現状について、受講生自身の手を動かすことで学んでもらえるよう工夫した。また、課題図書を提示し、①用語の抜き出しをすること、②用語の説明をさせ、制度を理解させること、③課題図書の形式を用いながら受講者自身が財政分析を行うこと、の 3 段階でステップアップできるよう、その補助的役割としての講義というスタンスをとった。

① 外書講読(2 単位) 3 年次以上配当

② 内容・ねらい

海外で起こっている事象について英語で理解することに重点を置いた。具体的には、単なるニュースとしての知識ではなく、事象が起こった背景にどのような地理的、歴史的、民族/宗教的な観点があるのか、日本で日本のニュースを見ていては読み取れない部分を理解することをねらいとした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

大きなテーマを 3 つ設け、テーマごとに(1) リスニング、(2)背景理解とリーディング、(3)ライティングを学べる回となるよう設計した。今年度のテーマは、ALPS 水の海洋放出、ガザ地区でのイスラエル・ハマス衝突、株式市場をとりまく経済・財政環境、とした。リスニングの

回では、BBC や Reuter、テレビ局の公式 YouTube など、中立的な情報を提供する教材を用いた。背景理解の回では、意見対立や紛争について地政学的視点から捉えられるよう、地理、経済、歴史、政治などの復習も丁寧に行った。リーディングでは、新聞、雑誌の記事等を教材として用い、経済学用語等について日経新聞等も併せて用いた。ライティングの回では、「英語脳」で文章を考えるよう、日本語で簡潔に説明することから始めた。テーマごとに小テストとして、自身の意見を英語でまとめる回も設けた。

株式市場をとりまく経済・財政環境の回では、映画 Money Short を教材に用いて、英語で金融用語を学べるよう工夫した。

① 財政学特論・大学院 (2 単位) M1 年次配当

② 内容・ねらい

テーマを見つけて自身で参考資料等を検索し、文章化/発表する基礎力をつけることに主眼を置いた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生の選んだテーマについて、学会等で収集したできるだけ新しい研究について提示することや、新聞や雑誌等から得られたニュース等を紹介することで、次年度執筆する修士論文に新規性を持たせられるよう工夫した。また、初学者にありがちな、データ・文献収集を進めるにつれ研究動機から外れてしまう点に気をつけ、当初の軸から離れないよう助言した。

① 演習Ⅰ(4 単位) 3 年次配当

② 内容・ねらい

講義時間の前半は新聞を用いた時事問題についての議論、後半は指定図書の輪読を行った。時事問題に関心を持つこと、簡潔にレジュメ化すること、整理したことを発表すること、人の意見に対して疑問を持ち質問、議論することを主眼においた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

15 回の講義の初段階は、論理的思考についての実践と、分析手法に関する合同勉強会(新宮ゼミ、廣瀬ゼミ)を行った。対面やオンラインでの講師招聘ワークショップ等に参加させたりすることで、インプットとアウトプットの循環とその手法を実践的に学ぶことができるよう工夫した。具体的には、近畿整備局足羽川ダム工事事務所より川内嘉起様など 4 名のゲストをお呼びし、現地視察を行った(6/27・9/26)。また、北陸原子力懇談会ご協力のもと、澁谷工業株式会社、志賀発電所の見学会を行ったり(9/29-30)、オンライン開催の「農村 RMO 推進フォーラム」に参加させて頂いたりした。他にも、日本原子力産業協会主催のセミナー(11/7)にて杉山一弥フェローにご講演頂いたり、北陸財務局、北陸農政局、近畿整備局など、国家公務員の方をお呼びした会を企画し、一般公開したりした(11/30)

【ゲストスピーカー 8人】
【フィールドワーク等 2件】

① 演習Ⅱ(4 単位) 4 年次配当

各自、自身の興味ある内容に関して卒業論文を執筆することに時間を割いた。また、上記の講演会やセミナーにも参加させた。

② 内容・ねらい

卒業論文執筆のための指導を行った、課題抽出、仮説設定、検証、考察の一連の流れを自身で組み立てられるようになることが主なねらいであった。そのため、多様な情報を取捨選択して取り入れつつ、自身の考えを整理し、賛否を述べられるよう指導した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

講義の当初は、3 年次の復習として分析手法に関する合同勉強会を行った。上記記載の講演会、視察等は合同開催としている。

後半は卒業論文執筆のため、1 名につき 1 時間の講義時間を設けた。これにより、仮説が明確な学生はデータ収集や分析に時間を割くことができ、テーマの絞り込みが難しい学生には、問答形式で概念を明確化・言語化できるよう工夫した。また、執筆した卒業論文を発表する場を設け、ゼミ内での発表会や、廣瀬ゼミ、藤野ゼミとの合同報告会を開催することで、プレゼンテーション資料の作り方や発表の仕方についても学べるよう指導した。

【ゲストスピーカー(同上)　　8人】
【フィールドワーク等(同上)　　2件】

(2)その他の教育活動

内容

4．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

【　本】

③その他論文（査読なし）

【　本】

②　学会発表等
地方自治研究学会(2023 年 9 月 23 日) @城西国際大学

【　1 件】

③　その他の公表実績

【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

① 令和 3(2021)年度挑戦的研究（萌芽）課題番号：21K18438
研究課題名「潜在的所有者不明土地の可視化と構造解明：ベイズ推定に基づく空間計量経済学を用いて」研究代表者、(2021年度-2023年度)

② 地方自治研究学会研究部会(2023年-2024年度)

③ 未来協働プラットフォームふくい推進事業補助金(2023年度)

(3)特許等取得

(4)学会活動等

・日本地方自治研究学会　常任理事
・地域公共政策学会　常任理事（論集編集委員長）
・日本財政学会
・日本地方財政学会
・公共選択学会
・北東アジア学会
・中四国商経学会
・北陸地域政策研究フォーラム　運営委員
・討論者：地方財政学会(2023 年 6 月 3 日)@名古屋市立大学

５．地域・社会貢献活動

①-1-1：総務省 地方行財政ビジョン研究会(2022年度～現在に至る)

①-1-2：北陸財務局 国有財産北陸地方審議会（2015年度～現在に至る）

①-1-3：北陸財務局 北陸地域連携プラットフォーム（2013年度～現在に至る）

①-1-4：北陸農政局 地域別農業振興計画審査委員会(2022年度～現在に至る)

①-1-5：近畿地方整備局 足羽川ダム事業費等監理委員会(2014年度～現在に至る)

①-1-6：金沢国税局 土地評価審議会(2022年度～現在に至る)

①-1-7：福井労働局 福井地方労働審議会(2019年度～現在に至る)

①-1-8：福井労働局 公共調達監視委員会(2022年度～現在に至る)

①-2-1：福井県 固定資産評価審議会(2016年度～現在に至る)

①-2-2：福井県 優良工事等事業者表彰選考委員会(2015年度～現在に至る)

①-2-3：福井県県民ホール指定管理者選定委員会(2019年度～現在に至る)

①-2-4：福井県 敦賀港地方港湾審議会(2021年～現在に至る)

①-2-5：福井県 社会教育委員会(2022年～現在に至る)

①-2-6：福井県 特定調達苦情検討委員会（2022年～現在に至る）

①-2-7：福井県 都市マスタープラン改訂専門部会(2022年～現在に至る)

①-3-1：福井坂井地区広域市町村圏組合・指定管理者評価委員会(2014年度～現在に至る)

①-3-2：福井市 公正入札調査等委員会（2007年度～現在に至る）

①-3-3：福井市 廃棄物減量等推進会議（2007年度～現在に至る）

①-3-4：福井市 市民協働推進委員会・委員長（2009年度～現在に至る）

①-3-5：福井市 旧マイドーム清水譲渡先選定委員会・委員長(2023年度)

①-3-6：福井市 身近なまちづくり審議会（2011年度～現在に至る）

①-3-7：大野市 行政改革戦略会議・座長(2013年度～現在に至る)

①-3-8：大野市 総合計画審議会・施策評価アドバイザー(2022年～現在に至る)

①-3-9：あわら市 行政評価外部評価委員会・会長（2012年度～現在に至る）

①-3-10：あわら市 公共施設総合管理計画設委員会・委員長（2023年度）

①-3-11：あわら市 指定管理者選定委員会・委員長（2023年度）

①-3-12：あわら市 新郷小学校利活用基本計画策定委員会・委員長（2023年度）

①-3-13：敦賀市 教育委員会自己点検ヒアリング(2018年度～現在に至る)

①-3-14：坂井市 指定管理者評価委員会(生涯学習課)・委員長（2009年度～現在に至る）

①-3-15：坂井市 指定管理者評価委員会(産業政策部)・委員長 (2022年度～現在に至る)

①-3-16：坂井市 総合戦略推進会議(2022年～現在に至る)

①-3-17：坂井市 海浜自然公園プロポーザル選考審査会(2023年度)

①-3-18：若狭町 公民連携推進協議会(2020年度～現在に至る)

①-3-19：永平寺町 都市計画審議会(2022年～現在に至る)

④-1：丹南ケーブルテレビ出演「福井県議会議員選挙開票速報 ～県政から地域を考える～」(2023年4月9日放送)

④-2：丹南ケーブルテレビ出演「鯖江市議会選挙特番」(2023年7月2日放送)

④-3：放送大学福井学習センター・講義(2023年11月11-12日)

⑥-1：金津高等学校(2023年3月13日、2023年7月13日)

⑥-2：開放講座：金津高等学校(年間アドバイザー)

⑥-3：豊田南高等学校(2023年11月9日) 2コマ

⑥-4：講演：福井県都市監査委員会定期総会・研修会@小浜市(2023年5月10日)

6．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

・論集編集委員会 (2021～現在に至る)
・広報・地域連携委員会 (2022 年～)

(3)学内行事への参加

入試関連業務等
・勝山高等学校 入試説明会(2023年7月5日)

(4)その他、自発的活動など